

# 子ども議員が市政を問う！



## おおの

# 議会だより

第1回大野市子ども議会（8月21日開催）

No.191 平成27年10月23日

発行：大野市議会

〒912-8666 福井県大野市天神町1-1

Tel 0779-64-4830 Fax 0779-65-3021

<http://www.city.ono.fukui.jp/>

編集：議会だより編集委員会



▼	9月定例会の概要	2ページ
▼	一般質問	3～7ページ
▼	各議員の表決結果	8ページ
▼	常任委員会審査Q & A	9・10ページ
▲	特別委員会報告・委員会視察レポート	11ページ
▲	大野市子ども議会の報告	12ページ

大野市議会では、議会日程や議案等の審議経過及び結果、会議録などの議会情報をホームページでも掲載しています。ぜひ閲覧してください。



# 9月 定例市議会 概要

第395回定例市議会は、8月31日から9月16日までの17日間の会期で開催されました。

今回の定例会では、平成27年度の一般会計補正予算案、条例の制定・改正、固定資産評価審査委員会委員の選任、人権擁護委員候補者の推薦などの全17議案のほか、請願1件、陳情2件について審議しました。審議結果は、8ページのとおりで。なお、平成26年度の一般会計・特別会計と水道事業会計の決算認定議案については、10・11月に審査することになりました。

## 一般会計予算に 1億4801万円を追加

平成27年度一般会計予算に、1億4801万円が追加され、予算の累計が180億4485万円になりました。

前年度9月補正後と比較すると7.1割の減です。キャリングウォータープロジェクトを進めるための経費、中学校にICT機器などを整備する経費、そして雪害により流出した橋梁の復旧経費などが計上されました。その他の主な補正の内容は下表のとおりです。

## 各特別会計等 補正予算の概要

各特別会計については、前年度決算や消費税に伴う補正、また水道事業会計では、消火栓更新に伴う経費などが計上されました。

## 中学校にICT機器・デジタル教科書を整備する経費や キャリングウォータープロジェクトの推進経費を追加

補正のあった主な内容	補正額
★ キャリングウォータープロジェクトの寄付を募ることや、寄付の受け皿となる一般財団法人を設立するための経費	333万円
★ 市ホームページのリニューアル等を検討するための結の故郷創生会議への負担金	1500万円
★ 同報系防災行政無線で放送音が聞き取れない地区へ子局を増設する経費	700万円
★ 下山農村公園の建物を撤去する経費や公園敷地の境界を確認するための経費	550万円
★ 中山間地域の担い手が施設園芸を導入することに対する補助	359万円
★ 道の駅九頭竜に電気自動車急速充電器（1基）を設置する経費	810万円
★ 橋梁の定期点検個所の追加に伴う経費の増額や角野橋の補修を行う経費	3501万円
★ 中学校にICT機器とデジタル教科書を整備する経費	3600万円
★ 開成中学校給食室の調理員控え室の防水工事費	370万円
★ なだれにより流出した上若生子11号橋の復旧経費	1600万円

※ ICT：情報処理及び情報通信のこと

## その他の議案

▼市立集会所設置条例等の一部改正  
行政区の名称が「幸町」から「幸町区」に変更されたことに伴い三つの条例の中の行政区名称が改められました。

▼市道路線の認定  
日常生活に重要な役割を担う9路線を市道として認定しました。

▼マイナンバー法の施行に伴う条例改正  
個人情報保護条例にマイナンバーを含む個人情報の保護に関する規定を追加し、また手数料条例に通知カード及び個人番号カードの再交付手数料を規定するなど、所要の改正がなされました。

とに同意しました。

▼人権擁護委員候補者の推薦  
引き続き山本輝昭氏（井ノ口）を推薦することに同意しました。

請願・陳情  
▼TPP交渉に関する請願  
○請願者 国民の食糧と健康を守る運動福井県連絡会 代表者 玉村正夫  
○紹介議員 榮 正夫

▼地方財政の充実・強化を求める意見書採択について  
○陳情者 自治労福井県本部 執行委員長 見世重毅

▼年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書の採択を求める陳情書  
○陳情者 日本労働組合総連合会福井県連合会 会長 山岸克司ほか1名

## 人事案件

▼固定資産評価審査委員会委員の選任  
引き続き上野法子氏（下麻生嶋）を選任するこ

とに同意しました。

# 農業試験場など 研究機関の誘致は可能か



知事へ重点要望事項として、  
農業試験場の建設を要望した

**問** 認定農業者、新規就農者の人数は、計画どおり達成できるのか。

**答** 農業者の高齢化や後継者不足が大きな課題であり、現在、個人経営体数が目標を下回っている状況である。これは、高齢で後継者もおらず、経営規模要件を達成できない等の理由により更新しなかつた農業者がいたためである。

新規就農者については、国や県の支援策を活用し、確保と育成に取り組んでいきたい。

**問** 農産物の総ブランド化について輸出による販路拡大を関係機関と協議されているのか。

**答** TPP交渉や3年後の生産調整の廃止もあり、今後は国内外の情勢を十分見極めながら対応する必要があると考えている。本市の米も高く売れる見通しがつけば、海外に

輸出できる政策について、J Aとの協議を考えていきたい。

**問** 重点道の駅における農産物のブランド化に対する取り組みは。

**答** 第1回のワーキンググループにおいて、ブランド化された野菜をはじめ農林作物の販売、農業体験や特産品を活用したレストランといった提案が出された。次回は、提案を基に導入機能や仕組みを検討していくこととしている。

**問** 農業試験場など研究機関の誘致は可能か。

**答** 次年度の知事への重点要望事項の一つとして、豪雪地域に適した高収益品目の特産作物の開発や実証栽培を行うための農業試験場の建設を要望した。

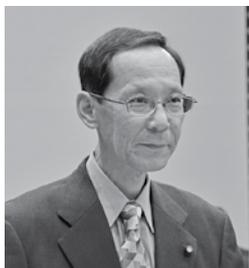
立志会

ひろた

かすのり  
議員

# 旧和泉村との合併後、 どのように評価し、今後の方向性は

一体的かつ公平性ある行政を行い、  
特性を生かした地域づくりをする



**問** 和泉地区は宝の宝庫だが、合併後、どのように評価し、今後の方向性をどうするのか。

**答** 「大野市・和泉村新しいまちづくり計画」に沿って一体的かつ公平性のある行政サービスを提供してきた。今後、交流人口の拡大、地域特産物の生産や販売促進を図り「住んでよし・訪ねてよし」の存在感ある地域づくりを展開していきたい。

**問** 本市の自然の美（荒島岳等）への対応は。また「道の駅」と産業面をどのようにつなげていくのか。特に農業との関係は。

**答** 本市としては、登山道や避難小屋等の維持管理を行い、清掃や草刈り等は地元や山岳関係団体に委託し、大規模な整備が必要な案件については国や県に要望している。今後は、本市の観光資源の一つである「山」の活用、PR等に取り組ん

でいきたい。

また、道の駅での野菜の販売、特に冬季の野菜の確保については、木質バイオマス発電所の余熱利用による通年型の施設園芸について、県と調査、研究を行っている。本年度より県は施設園芸に取り組む際の機械等に対し補助する事業を施行しており、今後、この事業等を活用した通年型の園芸ハウスに取り組む意欲ある農業者により、冬場の供給も期待できる。

**問** 選挙権の年齢引き下げに伴い、小中学校の児童・生徒にどのような教育がされるのか。

**答** 現在、小学校では社会で議会政治や選挙の意味を、中学校では地方自治の基本的な考え方や選挙の意義などを学習しており、今後は、小さいころから知識だけでなく自治の意識を育てていくことが重要と考える。

創生おおの

みやざわ

ひでき  
議員

# 六呂師高原の活性化に向けた考え方は

## 県、関係施設、地元と具体的な協議に入っていきたい



新生おおの

かわばた  
川端

よしひで  
義秀 議員

**問** 知事は、マニフェストの中で中部縦貫自動車道の全通に向け、奥越を自然環境の体験学習のエリアに、そして六呂師高原を雄大な自然を生かしたスポーツ体験観光の拠点と示しているが、六呂師高原の動向と、今後の活性化に向けた考え方は。

**答** 六呂師高原ハイランドホテルと、妻平ヒュッテについては、(株)六条メデイカルシステムズと売買契約が結ばれ、抵当権が設定されていた土地について、別途売買が行われた。

市としては、うらら館の再開を検討するとともに、今後の六呂師エリア全体の活性化について具体的な協議に入りたい。加えて、県の振興策や支援策などの動向も注視していきたい。

**問** 文化会館の改築に向けての具体策は。

**答** 昭和41年に建設され、築50年が経過しており、平成20年に実施した耐震診断では、震度6以上の地震が発生した場合、建物の倒壊等の被害が予想されるE判定を受けたところである。

このような中、大野市文化会館在り方検討委員会での検討を仰ぎ、その結果、廃止は困難であり、新築による整備を行うべきとの報告を受けた。市としては、この報告を受け、将来改築する方向で検討を進めていきたいと考えている。

今後ますます厳しい財政状況が見込まれる中で、市民により良いサービスを提供していくためには、民間の資金を活用するとともに、民間ならではの知恵や技術を生かすことも検討する必要があると考えている。

一般質問

# WHOの希望は100人以下の学校規模だが、適正規模とは

## 大野市は、小学校2学級以上、中学校3学級以上



日本共産党大野市議団

さかえ  
榮

まさお  
正夫 議員

**問** 小中学校と地域の関係及び自治体・教育委員会との関係、地域の子どもの教育を受ける権利の保障は。

**答** 本市の小中学校は、市の全ての児童・生徒が等しく教育が受けられるように設置されており、教育委員会は、地域とともに開かれた学校づくりを進めている。また、各学校には地域学校協議会が設置され、学校運営について保護者や地域の視点から提言をいただいている。

**問** 小中学校再編計画素案の40回にわたる説明会で集約した意見を学校教育審議会には提出するが、議会には非公開とする理由は。

**答** 素案に対する意見は、学校教育審議会でも検討する情報であり、公開することにより外部からの干渉等で、率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれる恐れがあるため非公開とした。

**問** 学校教育審議会の審議の中立性が不当に損なわれるとのことだが、学校教育審議会は何から中立なのか。

**答** 再編計画の協議を学校教育審議会が中立性を保って非公開としたことは、行政や教育委員会が決めたことではなく、委員会自身が決めたものである。

**問** 今般の農協改革や農業委員会改革に対する考え方は。

**答** 今回の法改正を契機とした農家の所得向上につながる農協の取り組みを市としても協力していきたい。また、農業委員会改革については、農業・農村への影響はほとんどないと考えるが、今後の動向を注視していきたい。

# 日本版CCRC構想「継続的なケア付き リタイアメントコミュニティ」の取り組みは

## 有識者会議の最終報告をはじめとする 政府の動向を注視



創生おおの

たかだ  
高田

やすまさ  
育昌 議員

- 問** 市民意識調査結果の「大野市のイメージ」についての評価、また「都市基盤」についての考察は。
- 答** 全体的にイメージはアップしており、施策への一定の評価と考える。一方、項目によっては達成度の低いものもあるため、効果的な施策の継続に加え、新たな施策にも取り組む必要があると考える。「都市基盤」については、全体的に必要であるとの回答がなされたので、今後もさまざまな施策を推進していきたい。
- 問** 第五次総合計画後期基本計画（素案）の重点プロジェクトにおける観光の振興の中で課題として掲げられた滞在型観光のイノベーションは。
- 答** 観光パンフレットやホームページの多言語化、無料公衆無線LANの整備など、外国人観光客の受け入れに対する環境整備を行っている予定である。「人情味のあるもてなしの心で」について、大野らしさを具体的に周知し、共有を図ることはできないか。
- 答** 平成24年3月策定の越前おおの観光戦略プランに取り組みことで醸成されていくと考える。観光ボランティアガイド育成等、もてなし体制の整備を進める中で検討していく。
- 問** 日本版CCRC構想の取り組みや事業化に向けての方針は。
- 答** 高齢者の医療や介護の給付費用が大きな財政負担となっている中で、高齢者の移住受け入れが、さらなる財政負担の増大を招く懸念がある。長期的な視点の下で、真に地方創生、地域活性化、人口減少対策に資するものがあるのかなどを見極めていく必要がある。

# 核燃料最終処分施設の候補地に選ばれたら 市は引き受けるのか

## 知事が引き受ける義務はないと言っている以上は、 現時点ではできない



日本共産党大野市議員団

のむら  
野村

まさひと  
勝人 議員

- 問** 本年6月26日に福井市内で行われた放射性廃棄物の最終処分地に関する説明会の内容は。
- 答** 科学的有望地は、火山や活断層、人口密度、環境保護の観点から検討していくといった内容であった。
- 問** 候補地にと、打診があったらどうするのか。
- 答** 知事が引き受ける義務はないと言っている以上は、県内市町ではできないと認識している。
- 問** 結の故郷奨学金制度について、入学準備金の創設や、月々の貸与額の増額をした方が良くと思うが市の考えは。
- 答** 現行制度で取り組んでいきたい。現時点では提案のあったことに対する予算はない。
- 問** マイナンバー制度について、東京商工リサーチが6月から7月に実施し、企業4942社から
- 問** 回答を得た調査では、マイナンバー制度への対応作業は、概ね完了と答えたのは2・8割、システム設計・改修中は7・8割であった。一方、対応を検討中又は未検討と答えた企業は9割に上り、特に中小企業の遅れが目立っている。まだまだ企業が対応できる状態ではなく、企業には金銭的にも能力的にも、かなりの負担があるが、それに対する補助はないのか。
- 答** 補助は考えていない。
- 問** 企業の対応は遅れているとともに、個人及び企業に対するメリットが感じられないが、この制度の中止を国に求めるべきではないのか。
- 答** 国の制度であり、国に中止を申し上げるつもりはない。また、市民にとっても、全くメリットのないものではないと認識している。

# キャリングウォータープロジェクト (CWP) の受け皿は



創生おおの

梅林 うめばやし

厚子 あつこ 議員

## 定款を作成し、一般財団法人を設立

- 問** CWP推進の受け皿となる一般財団法人の①目的②役割③事業内容は。
- 答** ①目的…多くの家庭が清らかな水への感謝の気持ちを確認し、その恩恵を結の故郷ならではの助け合い、支え合う心で世界の水不足の地域に支援する。②役割…CWPの理念やイメージをPR。本プロジェクトの趣旨に賛同する方々から寄付を募り、世界で安全な飲料水が供給されていない地域での井戸や水供給施設の整備を支援する。③事業内容…市民への水への感謝の思いを醸成するためイベントや行事などを通じPR。個人・企業等からの寄付をユニセフやNGOに費用支援。
- 問** NPO、一般社団法人等があるが、なぜ一般財団法人なのか。
- 答** 税法上の関係及びできるだけ寄付を募るため。
- 問** 設立予定の一般財団法人は非営利か否か。
- 答** 営利を求めないのではない。
- 問** 財団法人の構成員は。
- 答** 法の基準である理事3人、評議員3人、監事1人は満たしていく。
- 問** 財団設立には定款が必要だが、案を示している。ただきたい。
- 答** 今定例会の補正にて設立に係る予算を認めていただいた後、定款の策定に入りたい。
- 問** 企業誘致と環境保全のコンセンサスは。
- 答** 現在、企業誘致に向け、製造業、食品製造、清涼飲料業者の業種が上がっているが、環境保全を十分に図りながら進めていく。
- 問** 将来的に図書館の民間委託を考えているか。
- 答** 現状維持の考えではない。

## 一般質問

# 新しい時代の教育や地方創生に向けた学校と地域の連携・協働についてどう考えるか

## 家庭、地域、学校で「地域・学校協議会」を設置し、地域全体で学校運営を実施している



創生おおの

松田 まつた

元栄 もとえ 議員

- 問** 地域が崩壊せずに、市長とわれわれが考えている地方創生にも貢献する学校づくり、教育であるべきと考えるがいかがか。
- 答** 基本は適正規模化であり子どもの教育が先にある。地域活動については福井型コミュニティ・スクールの実施報告書として県教委に提出している。
- 問** 小さい学校は小さい学校なりに、素晴らしい教育環境で勉強しており、これが学校の魅力ではないか。
- 答** 総合計画後期基本計画で学校再編を明記し、大野市を一つのコミュニティとして捉えることもできる。
- 問** 地域全体の中で教育を考え、どんな時代にも対応できる子どもたちを創ることが目的であり、文科省はコミュニティ・スクールの必置を全国の学校で実施するとしている。
- 答** 福井型のコミュニティ・スクールを進化させ、大野の魅力とし、最終的には人口減少対策になるのではないかと。
- 問** 家庭教育と地域教育が大事で、学校教育は別の教育である。
- 問** 「和泉小中学校の再編(素案)」でなぜ学校を配置しないのか。
- 答** 和泉小中学校だけでなく市内の全ての小中学校を再編の対象としており、現在、保護者や地区から素案に対する意見を聞いている段階であるので、今後慎重に検討していきたい。
- 問** 学校がなくなることには地域の元気をなくし、夢をなくすことにならないか。
- 答** 学校がなくなれば地域がさびれると言うが、地域がさびれてきたから子どもが少なくなる。適正規模の教育環境はわれわれの務めて使命である。

# 大野創生に向けて 自治体間競争を勝ち抜くための取り組みは



市民力・地域力を生かした事業や  
結の故郷ブランドの確立に向けた取り組みを推進する

立志会

堀田 昭一

議員

**問** 大野創生に向け、また自治体間競争を勝ち抜くため大野市人口ビジョン・総合戦略(素案)にどのように取り組むのか。

**答** 結の故郷づくりの推進に向け、市民力・地域力を生かした事業や結の故郷ブランドの確立に向けた取り組みを推進する。道の駅(仮称)結の故郷」整備事業、キャリングウオータープロジェクトや、若者を応援する結の故郷奨学金事業、結の故郷はたらく若者応援事業、結の故郷ゆめみらい支援事業などは、自治体間競争を見据えた本市の獨創性を持つ取り組みと考える。

**問** 人口ビジョン・総合戦略(素案)における地域の人口の在り方について成果検証していくために、持続的な調査実施体制や手法の確立、判断基準の設定などを行うべきでは。

**答** 総合戦略に掲げる指標を評価・検証するに当たっては、大野市人口減

少対策会議に進捗状況や成果を示し、意見・提言の集約を行い進めていきたい。

具体的な内容については、指標の実績を毎年把握し、評価するとともに必要に応じて事業の見直しに努めたい。

**問** 人口減少等で地域コミュニティの存続が危ぶまれる中、住民生活に必要なサービス機能を持続し、ネットワークを持たせる地域コミュニティの形成を検討しているか。

**答** 結の故郷づくり交付金事業や世代間結づくり事業などは、地域づくりに当たり、地域住民が地域の課題解決や地域の活性化に向け話し合い、合意形成を図り、地域の特性を生かして自らが磨きをかけるものであることから、これらの事業を通して、さらなる地域コミュニティが形成されるものと考えている。

## ふるさと納税の現状は



年々厳しさを増す経済状況の中、  
自主財源確保の一助となっている

新生おおの

山崎 利昭

議員

**問** ふるさと納税における理念とは。

**答** 第一に、納税者が納税先を選択する制度であり、選択するからこそ、その使われ方を考える意識が高まること。

第二に、生まれ故郷だけでなく、お世話になった地域、これから応援したい地域にも力になれる制度であること。

第三に、納税を受けた地方自治体が魅力や取り組みをアピールすること、自治体間の競争が進み、選ばれるにふさわしい地域の在り方を考えるきっかけへとつながることである。

また、寄付をしていた方々に大野の特産品を送るのは、それぞれの地元で「結の故郷 越前おおの」のブランド発信の一翼も担ってもらおうとするものでもある。

**問** ふるさと納税における地域活性化とは。

**答** 昨今、ふるさと納税で高い還元率を設定し、高額な返礼品を送る自治体が増えているが、本市においては、高価な返礼品を用意して、ふるさと納税を集めるといったことは考えていない。ただ、ふるさと納税のお返しとして、市が特産品を市内で購入することにより地域経済の発展につながるという考えはあるが、本市においては、ふるさと納税をしていただいた方にお送りした特産品を通して大野のPRをしてもらうことにより、「越前おおの」のファンやリピーターを獲得し、販路の拡大につなげることで、地域経済の活性化に寄与するものになると考えている。

一般質問

# 平成27年9月第395回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

議案番号・議案名等		議員名（議席番号順）	議決結果	堀田昭一	野村勝人	廣田憲徳	高田育昌	山崎利昭	松田元栄	永田正幸	梅林厚子	川端義秀	宮澤秀樹	藤堂勝義	松原啓治	高岡和行	島口敏榮	兼井大	畑中章男	砂子三郎	榮正夫	
市長提案	60	平成27年度大野市一般会計補正予算（第2号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	61	平成27年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	62	平成27年度大野市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	63	平成27年度大野市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	64	平成27年度大野市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	65	平成27年度大野市下水道事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	66	平成27年度大野市水道事業会計補正予算（第2号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	67	大野市一般職の任期付職員の採用に関する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	68	大野市個人情報保護条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	69	大野市手数料条例の一部を改正する条例案	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	×
	70	大野市立集会所設置条例等の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	71	市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	72	字の区域の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
73	平成26年度大野市歳入歳出決算認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	
74	平成26年度大野市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	
75	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	
76	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	
請願陳情	5	T P P 交渉に関する請願	趣旨採択	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	/	趣	趣	趣	趣	趣	
	2	地方財政の充実・強化を求める意見書採択について	趣旨採択	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	/	趣	趣	趣	趣	趣	
	3	年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書の採択を求める陳情書	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○

（議長（高岡和行氏）は採決に加わらないので「/」で表示。欠席は「欠」、除斥は「除」と表示。）  
 議案に賛成○、反対×。議案等を継続審査とすることに賛成○、反対×  
 請願・陳情の願意に賛成「賛」、願意の趣旨又は一部に賛成「趣」、願意を否とする場合「否」

## ○会議録の公開

本会議の会議録は、図書館や市役所窓口で閲覧できるほか、大野市ホームページでも公開します。また、各委員会の会議録は、情報公開制度によって、公開を求めることができます。ただし、会議録の調整に一定期間を要します。



詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。  
0779-64-4830（直通）

## 請願書・陳情書の提出方法

どなたでも、市政についての要望などを、請願書や陳情書として市議会に提出することができます。請願書・陳情書ともに様式に特別の定めはありません。定例会初日の午後5時まで提出しますと、その定例会で審議することとなっています。

次の事項を記載して、持参の上、提出してください。

- ①請願・陳情の趣旨（具体的に）
- ②提出年月日、提出者の住所・氏名（押印必要）
- ③請願書の場合は、紹介議員の署名（1人でよい）

# 常任委員会審査



## ▽産経建設

### 重点道の駅の方向性

**Q** 重点道の駅「(仮称)結の故郷」で本市の特産品を販売する方向になったことなど、道の駅の在り方が当初と変わってきているのでは。

**A** 基本的なコンセプトは変わっていない。

**Q** 道の駅の機能が強化されるほど、来訪者がそこで目的を完結し、市内への回遊性が損なわれる心配があるのではないか。

**A** 道の駅で完結することとは考えていない。しかし、本市の魅力ある特産品の提供をはじめ、来訪者が道の駅に求める機能を充実し、まずは道の駅の集客力を高めることも肝要。加えて、市内への回遊性を高める方策をワーキンググループで議論している段階である。

### 九頭竜紅葉まつりの

#### 出店者数

**Q** 出店者数は昨年度に比べてどうか。

**A** 近年、少しずつ減少している傾向にある。また本年度は、市報において飲食関係で2区画、物販関係で1区画の出店募集を行っている。

**Q** 出店料が高くないか。

**A** 高いという意見もある一方、運営面を考慮して上げるべきとの意見もある。

**Q** のぼり旗設置などの作業に応援を求め、出店料も高いとなると、ますます出店者が減っていくのでは。

**A** 検討していきたい。

**Q** テニスコートの部分を新しい取り組みに挑戦したい方へ開放するなどし、それに伴う新たな客層の獲得を図り、この祭りの発展につなげられないか。

**A** 六呂師高原協業組合の自己破産手続きが完了したこと、購入者や県、地元の方

**A** この委員会での指摘もあり、家族連れ、子ども連れにターゲットに絞った企画など幅広い年齢層を獲得すべく試行してきている。引き続き実行委員会の中で、いろいろな企画を練っていききたい。



昨年度の九頭竜紅葉まつりで企画された「ふるまい大鍋」を本年度も10月24日・25日の両日実施

### うらら館の早期再開

**Q** うらら館を遅くとも平成28年度当初から再開できないか。

**A** 六呂師高原協業組合の自己破産手続きが完了したこと、購入者や県、地元の方

どの関係者で組織する協議会を10月に立ち上げ、うらら館の活用や周辺の施設との連携、六呂師全体の活性化の方向性などのさまざまな課題について検討していきたい。また、うらら館を早期に開館したい思いはあるが、必要な修繕等に掛かる費用も勘案する必要がある。



再開が待たれる「うらら館」

## ▽民生環境

### ベビ待ちセミナーの

**Q** 本年度から実施して

いるベビ待ちセミナー事業の実施状況は。

**A** 8月19日に第1回目の医療講座を開催し、13組、15人の参加があった。

**Q** 参加者の反応は。

**A** 妊娠・出産のチャンスがあるうちに必要な知識を身に付ける機会があった。良かったとの感想があった。

**Q** 参加者の妊娠や出産に対する意識が芽生えることは重要なことであり、人口減少対策にもつながるとい意味からも、本事業の継続が大事だと思

**A** 継続して実施していきたい。

### 下水道管敷設後の

#### 道路復旧

**Q** 箇所によって仮舗装に差があるところが見受けられる。埋戻しに係る工事方法は。

**A** 下水道管敷設後、埋戻しをし、仮舗装をした後、一定期間そのままの状態にしておく。仮舗装

が下がり危険な場合は復旧工事をする。

**Q** 道路にくぼみが生じている場合の対応は。

**A** 他の原因も考えられるため、試掘して原因を調査し対応している。

**Q** 下水道工事に係る責任の所在は。

**A** 施工業者には瑕疵担保責任を課している。工事発注後に開催している施工業者との定例会の中で、施工についても十分な指導をしていきたい。

**Q** 関係課との連携は。

**A** 道路パトロールなどで、下水道敷設箇所の道路が陥没している状況を発見した場合には、市の関係課とも連携を取り、早急に復旧したい。

### DV等被害者への

#### 通知カードの送付

**Q** DV等被害者が住所以外の場所へ移動している場合の通知カードの送付はどうか。

**A** 事前申請により、現在住んでいる居所で通知カードを受け取ることが可能である。

**Q** マイナンバーは変更できるのか。

**A** マイナンバーは生涯、同じ番号を使い続けるため変えることはできない。

**Q** DV等被害者が事前申請をせず、通知カードが住所地に届き、他人にマイナンバーが漏えいしたときに変更できるか。

**A** 特別な事情があり、それが認められれば変更することができる。

※DV・ドメスティック・バイオレンスの英語表記の略。親しい関係の人から加えられる暴力のことをいう。

### 春日保育園の

#### 休園に関する説明状況

**Q** 春日保育園は、平成28年度をもって休園することであるが、関係区長や保護者に対する説明会の状況は。

**A** 大野地区区長会長をはじめ春日保育園近隣の区長に説明を行った。保護者には、保護者会役員会や総会の場で説明会を実施した。

**Q** 区長の意見は。

**A** 保護者の意向を十分にくみ取って、取り組ん

でいただきたいとの意見があった。

**Q** 保護者の意見は。

**A** 先般、保護者会から要望書の提出があり、「1年でもいいから新規募集をしてほしい」との要望を受けた。この件については、現在検討中であるが、保護者の意向については、できる範囲で応えたい。



休園が予定されている春日保育園

**Q** 100人の団員全員がそろって活躍する場の一つとして、例えば浴衣を貸出し越前おのおどりに全員浴衣で参加し城まつりを盛り上げる等、市のイベントの盛り上げに協力願ってはどうか。

**A** 検討してみたい。

#### 図書館の市民サービスと

##### 民間ボランティア

**Q** 民間ボランティアの状況は。

**A** 「図書館友の会」というボランティア組織があったが自然消滅した。

**Q** 図書館の総合的支援を行うNPO法人を行政指導で作る等、何か方策を検討してみたい。

**A** 市民サービスに係る貸出等の補助作業に図書館友の会の復活を考えているが、検討したい。

#### 全国学力学習調査と

##### 本市独自の教育

**Q** 全国学力学習調査結果で福井県は本年度も上位に位置しているが、本市の状況はどうか。

**A** 現在、調査結果を基

に分析を進めており、10月中に平均正答率を記号化し、課題と今後の対応策も併せて公表する考えである。

**Q** 今後、英語が学力学習調査科目になるが英語教育への取り組み状況は。

**A** これまで市の負担で一人配置していたALT(外国語指導助手)を一人増員し、9月から各小学校を現在の2週間に1回から週1回訪問できる体制にした。

**Q** 第五次大野市総合計画に特色ある学校づくりを掲げている。本市独自の教育を検討願いたい。

**A** 検討したい。

#### 和泉地区で発見された

##### 化石の活用

**Q** 県内初、全国で3カ所目となる単弓類トリテイロドン類の歯の化石が発見されたが、法的には発見者のものになるのか。

**A** 発見者のものになるが、本市では原則、貴重と思われるものが発見された場合には市が一旦預かり、貴重と判明した場

合、寄贈等の話し合いを行うことになっている。今回の化石は今後、寄贈を受けて和泉郷土資料館等で展示したい。

**Q** 貴重な化石発見時の対応や、誘客を促す展示等、有効な方法を考え、積極的に活用願いたい。

**A** 考えたい。



和泉地区で発掘された単弓類トリテイロドン類の切歯。長さ15mm、幅4mm、厚さ3mm

組みを利用するのか。

**A** 今のところ市単独でPRしていく考えでいる。

**Q** 既存のポータルサイトを早くから活用し低コストで大きな効果を出している自治体がある。時宜を逸しないためにも本市事業のPRに既存のものを用いかに利用するか検討する必要がありますか。

**A** 今後、創生会議等で検討していきたい。

#### 市ホームページの

##### リニューアルの進捗状況は。

**A** これまでは主に四つのサイトの充実を図ってきた。現在、全体の再構築を検討する段階にある。

**Q** コスト意識を持ち、職員自ら企画を提案する等、創造力を発揮し、多くの人が何度も閲覧したくなる内容にすべきでは。

**A** 多くのホームページがある中で人々の目に留まり、市民にとっても利用しやすく親しみやすい内容にしていきたい。

## 総務文教

### 結の故郷女性分団の

#### 活躍の場

# 特別委員会 報告

## ▼中部縦貫自動車道等

### 中部縦貫自動車道 幹線道路整備促進

本年度事業化となった大野・大野東間では、現在、現地調査と基準点測量を行っており、今後、平面測量、路線測量を実施する予定とのことである。

大野油坂道路の工事の進捗状況としては、現在、国道158号を横断する本線の橋台工事や勝原インターチェンジ付近の白谷川橋の橋台工事が進められている。

## 重点道の駅

### 「(仮称)結の故郷」

7月23日に第1回目の計画協議会と三つのワーキンググループが開催され、本年度内の基本設計の作成を目指し、道の駅に導入すべき機能や配置計画、運営手法等の検討

を行っていくとのこと。委員からは、まるごと道の駅ビジョンの実現は、本市にとって最重要課題であるため、例えば物流の分野や、生産者等の意見も取り入れる必要があるとの意見が述べられた。

また基本計画策定にあたり実施されるパブリックコメントについても、積極的に意見を求めていく在り方を検討すべきではないか。

そのほか道の駅に本市ならではの魅力ある特徴を打ち出さなければ集客につなげることは難しいのではないかなど多くの課題が出された。

## ▼人口減少若者定住対策

6月定例会以降に人口減少対策会議を3回開催し、人口ビジョン及び後期基本計画の素案や総合戦略の骨子等について論議を重ね、8月18日の同会議で各素案に対する意見の集約を行ったとの報告があった。

今後は、これら素案に対する市民の意見を聴取するパブリックコメント

を実施し、追加、修正等を行うとのこと。なお第5回人口減少対策会議と庁議を経て、各計画は最終決定となる。

またなかでの新規出店を促進するため貸し手と借り手のマッチングを図る本年度の新規事業「空き地空き家の見学ツアー」の第1回目の参加者は13人で、そのうち2人は県外、4人は市外からの参加となり、県外参加者は、全国紙の記事から情報を得たとのことである。

委員から近年災害が多いことを考えると、本市は災害が少なく安心安全なまちであることをもっとアピールしてはどうか、あらゆるツールを活用し広く情報を発信していくことが肝要では等、情報発信の必要性に関する意見が多く述べられた。また、合計特殊出生率を向上しなければ人口増にはつながらないため、出産に対する支援の充実等、生み育てる環境の整備を庁内横断的に連携し、取り組んでいただきたい。

## 委員会視察 レポート



## ▼議会だより編集委員会

8月17日・18日に、京都府精華町と久御山町を訪問し、議会だよりのレイアウトの工夫点や編集の方法などについて研修しました。

両町とも・写真やリード文を大きく効果的に配置し、読みやすい紙面レイアウトでありました。また、市民活動を紹介する記事を掲載していることや、表紙の標題について小学生に執筆を依頼したり、表紙写真を文化協会の写真クラブに提供を依頼したりと市民参画に取り組んでいる点も特徴的でした。



精華町議会での研修の模様

本市議会だよりで取り組める点などを協議しました。

## ○市議会の傍聴にお越しく下さい

本会議は、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、議会事務局（3階）で受け付けを済ませてから、傍聴席（4階）にお入りください。

また、傍聴席で聞き取りにくい方のために、ヘッドホンの貸し出しを行っていますので、議会事務局までお申し付けください。

次回定例会の詳しい日程につきましては、広報おおのや大野市ホームページでご案内します。

なお、9月定例会の傍聴者数は、本会議4日間延べで38人でした。次回もぜひお越しく下さい。

## ○インターネット放映

平成27年3月定例会（第393回）から本会議の様をインターネットで録画配信しています。

大野市のホームページからアクセスできますので、ぜひご覧ください。

ただし、閲覧の前には、免責事項をよくお読みいただきますようお願いいたします。

特にスマートフォンによる視聴は、パケット通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信事業者から高額な料金請求がくる場合がありますのでご注意ください。

# 大野市子ども議会の報告

## 小学生独特の視点での質問に対し、市長、教育長が答弁

第1回目となる大野市子ども議会を8月21日に開催しました。市内各小学校から1人ずつの子ども議員10人で実施。正副議長、会議録署名議員、大野市民憲章と教育理念の首唱者などを決定し、実際の議会と同じ運営を体験してもらいました。

また、全ての子ども議員が、市の行政に対し疑問に感じていることや市の将来について、子ども視点から質問や提案を行い、市長と教育長がそれに対し、答弁を行いました。



議長 堀 真由子さん  
(有終南小学校)



副議長 齋藤 希さん  
(有終西小学校)



山田 将太さん  
(乾側小学校)



杉本 陽菜さん  
(上庄小学校)



中村 彩翔さん  
(阪谷小学校)



松田 来輝さん  
(小山小学校)



熊野ほまれさん  
(有終東小学校)



前田 絃貴さん  
(下庄小学校)



田中 想馬さん  
(和泉小学校)



木下 溪悟さん  
(富田小学校)

子ども議員質問の内容は、学校のエアコン設置やコンピューター学習、新市庁舎建設、公園の遊具、名水に関する質問、また城まつりでのまんじゅうまきの方法、ショッピングセンターなどの誘致、和泉地区での移動販売車の運行といった提案、そして夏休み期間中の行事を減らしてほしいという要望など小学生独特の視点のものでした。

最後に高岡議長が、今回の体験を今後の学校生活に生かすとともに、政治に一層関心を持ってほしいとの講評を行いました。

なお子ども議会の会議録は、大野市ホームページで公開しています。



最初に「大野市民憲章」と「大野市教育理念」を唱和

### 編集後記

最近、自然災害が多く発生しております。

9月9日から11日にかけて発生した関東・東北豪雨、10月2日には爆弾低気圧の影響で全国的に激しい雨と風に見舞われるなど、各地で被害が相次ぎました。被災者や地域復興に、国の緊急支援が求められています。

この大野市では、幸い大きな被害は出ていませんが、天災というものはいつ起こるか分かりません。万が一の災害に備えて自治体の取り組みが大切です。晩秋の候、山々も色づき、朝夕冷え込んでまいります。皆さま健康に気を付けてお過ごしください。

これからも市民の皆さまに分かりやすい紙面になるように努めてまいります。皆さまのご意見ご感想をお待ちしております。

(座長 野村勝人)

### 議会だより編集委員会

委員 野村 勝人

廣田 憲徳

梅林 厚子

川端 義秀

※次回は、翌年1月下旬の発行を予定しています。